

134億4千万円

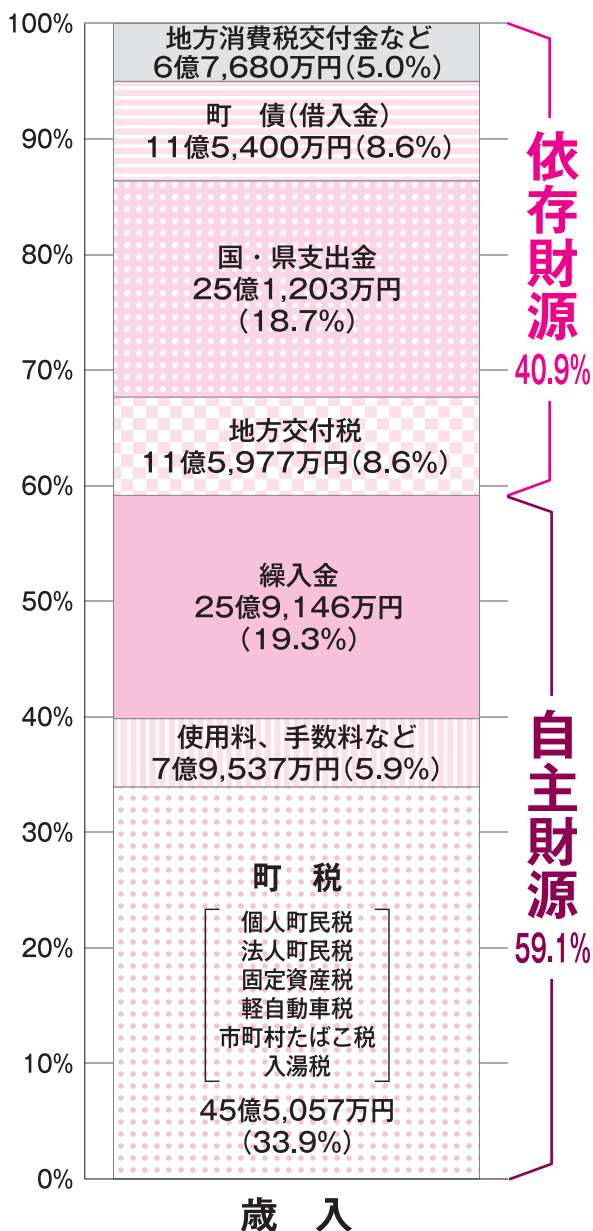
平成29年度

震災からの真の復興
輝かしい未来に向けて安定した活力のあるまちづくり

予算です

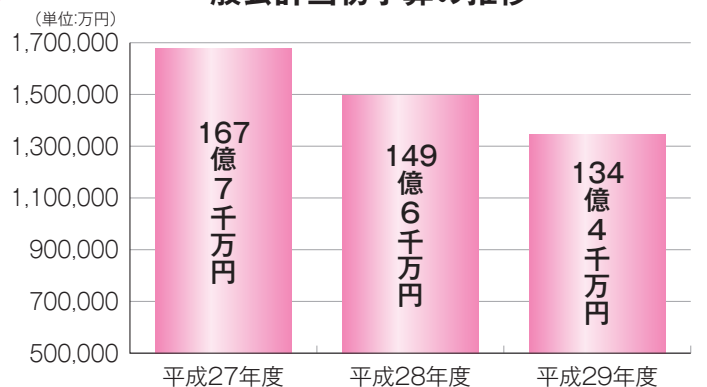
町の各種事業を行うための平成29年度予算が決まりました。予算額は、前年度と比較し、10・2%（15億2千万円）の減となりました。

町では、施政方針に掲げる主要事業のとおり、一日も早い復興を目指し、着実な復興事業の推進をはじめ、文化複合施設整備事業、利府小学校建替え事業や、少子高齢化に伴う各種事業、町制施行50周年記念事業など、町民の皆様が生きがいと喜び、心の豊かさ幸せを実感いただけるよう、今後の町の将来を見据えた諸施策の展開に予算の重点配分を行なっています。



※自主財源とは町が自主的に調達できる財源のことです。自主財源の割合が高ければ高いほど、国や県に依存しておらず、より自主的に安定した財政運営が出来ます。平成29年度当初予算における自主財源の割合は59.1%で、平成28年度当初予算から1.5ポイント上昇しました。これは、復興事業の進捗に伴う国庫支出金及び震災復興特別交付税の減のほか、町債が減少したためです。

一般会計当初予算の推移



歳入

予算総額は、134億4千万円となり前年度から10・2%（15億2千万円）の減となっています。

その大きな要因は、復興事業の進捗に伴う地方交付税、繰入金金の減のほか、国庫支出金や町債の減少によるものです。

国庫支出金は、文化複合施設整備事業に係る交付金の増が見込まれますが、前年度に着工した浜田地区防潮堤整備事業の進捗や沢乙地内の認可保育所の整備完了などにより、11・9%（2億4,423万円）の減を見込んでいます。

地方交付税は、復興事業の進捗に伴い、前年度から20・9%（3億569万円）の減を見込んでいます。そのうち、震災復興特別交付税は、2億9,569万円の減となる見込みです。

繰入金は、復興交付金基金から7億9,200万円、財源不足を補うための財政調整基金から12億4,540万円の繰り入れとなり、総額では前年度から20%（6億4,871万円）の減となっています。

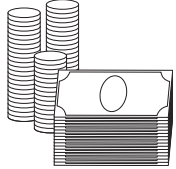
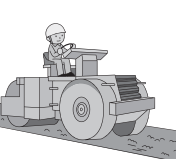
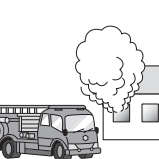
町債は、町道新砂押迎東浦線整備事業や利府小学校建替え事業の進捗により、22・6%（3億3,680万円）の減となっています。

町税は、企業の業績向上による法人町民税の増収等が見込まれることから、町税全体で前年度から0・3%（1,242万円）の増となっています。



町民一人当たりの行政経費（一般会計）
平成29年2月28日現在人口 36,298人

370,268円

民生費	総務費 (復興関連事業含む)	公債費
101,475円	90,296円	35,996円
		
教育費	農林水産業費	衛生費
50,122円	20,951円	21,702円
		
土木費	消防費	議会費・労働費など
26,473円	12,713円	10,540円
		議会費、労働費、 災害復旧費、 商工費、予備費

歳出

主な事業は、施政方針（2、3ページ）の内容のとおりですが、前年度と比較して増減が大きなものとしては、復興関連経費を含んだ総務費で、文化複合施設整備事業の本格的な着手による増があるものの、浜田地区の避難道路や避難場所の完成など、復興事業の進捗により、17・5%（6億9,403万円）の減となりました。

農林水産業費は、復興事業として行なっている浜田地区防潮堤整備事業の進捗などにより、前年度から31・8%（3億5,404万円）の減となっています。

土木費は、新砂押迎東浦線をはじめとした各種道路路整備事業の進捗により、14・7%（1億6,582万円）の減となりました。

教育費は、利府小学校建替え事業の進捗により、前年度から13・1%（2億7,307万円）の減となっています。

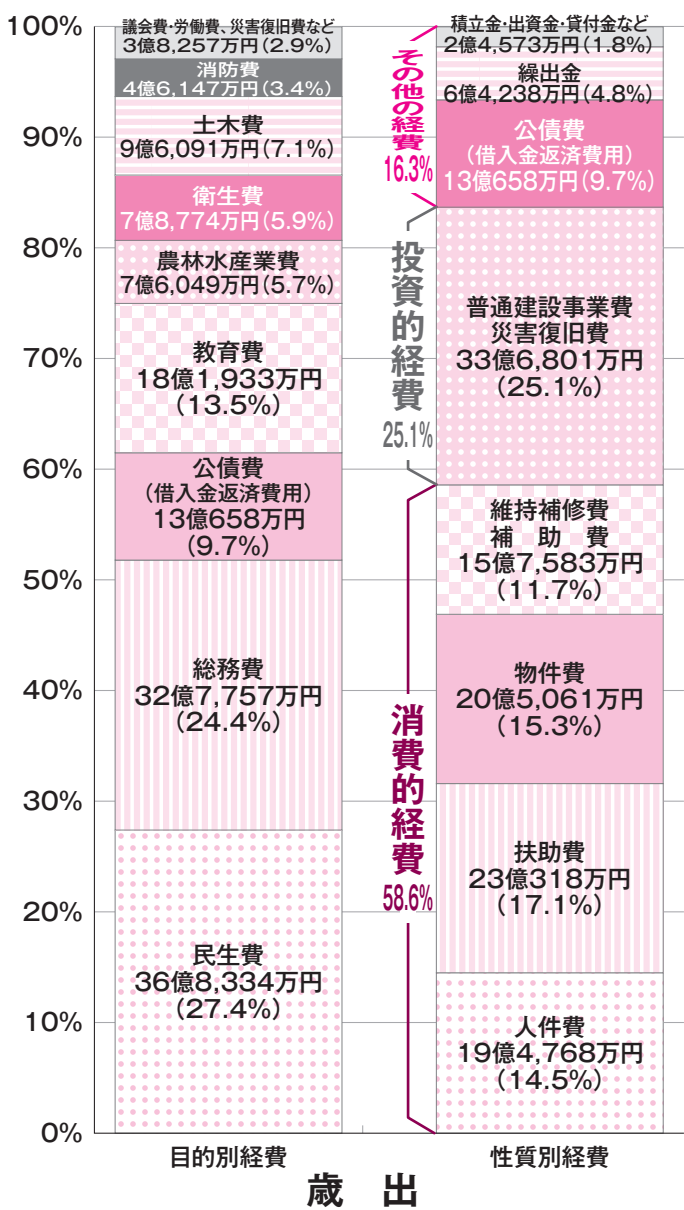
今年度も限られた財源を効率的かつ効果的に活用し、今後の町の将来を見据えながら、町民の皆様の生活に密着した事業を展開します。

問

財務課 財政経営班

☎767-2198 ☎767-2102

利府町一般会計 総額



特別会計

予算総額 65億9,261万円

会計名	予算額
国民健康保険特別会計	35億6,816万円
介護保険特別会計	19億9,488万円
後期高齢者医療特別会計	2億5,829万円
下水道特別会計	7億3,132万円
町営墓地特別会計	3,996万円

水道事業会計

収益的（収入）	10億4,991万円
〃（支出）	9億4,473万円
資本的（収入）	1億2,480万円
〃（支出）	3億3,987万円